

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果(R7年度)

○BLASTAM(ブラスタム)とは

アメダスデータ観測地点における気温・降水量・日照時間・風速のデータから葉いもちの感染好適日を判定するシステムです。

○概要

- 6月第2～5旬に県内各地で好適条件の出現がありました。
- 6月8日頃例年(6月4日)より遅く梅雨入りし、6月27日頃例年(7月19日)よりかなり早く梅雨明けしたとみられます。
- 6月11日に葉いもち病の初発生を例年(6月28日)より早く確認しました。

<対策>

- 不要な置き苗は、すみやかに処分する。
- 移植までにいもち剤を使用していないほ場では、発生がないかほ場をよく観察する。

○BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果(2025年6月30日現在)

アメダス	6月				
地點	6	11	16	21	26 30
須佐	●	●		●	
秋					
油谷		△		△	
徳佐	△				
秋吉台	△	△	●		
広瀬	△	●	●		△
豊田	△	●			
山口	●	●	●		
岩国	●	●	●		△
防府	●	●			△ △
下松	●	●	●		△
玖珂	●				△
下関		●	△		
柳井	●		●		△ △
安下庄	●	●	●		● ●

出典 一般社団法人 日本植物防疫協会

○上記表の見方

凡例	●: 好適条件	△: 準好適条件				-	?
内容	湿潤時間中の平均気温が15～25°Cであり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20°C～25°Cの範囲	湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い	湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温が15°C～25°Cの範囲外	湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間平均気温が25°C以上	湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間平均気温が20°C未満	好適条件なし	判定不能

●印がついている日は、葉いもちの感染好適条件出現した日(感染好適日)を示す。好適条件出現すると5～10日後に発病します。

△印がついている日は、葉いもちに感染するには一部の条件が不足し、やや不適であった日を示します。

○注意事項

感染好適条件が出現したとしても、防除(箱粒剤等)、イネの品種、肥培管理等によって感染、発病しない場合もあります。

感染好適条件が出現しない場合でも、ほ場条件(山際、風通しが悪いなど)で感染に好適な条件となっている可能性があるので、ほ場を十分に見回りましょう。